

「高陽金平住宅売却応募要領（一般競争入札〔事前審査型〕）」
の質疑応答事項の追加について

平成 29 年 12 月 14 日に公表した「高陽金平住宅売却応募要領（一般競争入札〔事前審査型〕）」に係る質疑応答事項について、公正な入札の執行を図る観点から、次のとおり追加公表します。

平成 30 年 2 月 7 日

広島県住宅供給公社 理事長 伊 達 英 一

項目		質問	回答
建物評価等	アスベスト	・アスベスト調査結果に係る資料を提供してほしい。	・アスベスト調査の結果は、別紙「賃貸住宅・賃貸施設・分譲共同住宅 調査内容」のとおりです。 なお、この調査は図面によるものであり、調査の結果、吹付石綿使用部位又はひる石使用箇所のある物件ではなかったため、分析試験調査は行っていません。

賃貸住宅・賃貸施設・分譲共同住宅

調 査 内 容

対策凡例

A 試験結果により処理を施す。

建設年度平成元年以前の建物には、吹付アスベスト、吹付ロックウール内に石綿が含有している可能性があるため石綿含有試験を行い石綿が検出されたものについては、処理（封じ込め工法、又は、囲い込み工法）を施す。
また、吹付ひる石についても、昭和56年以前に建設された建物には、石綿含有の可能性があるので、石綿含有試験を行い石綿が検出されたものについては、処理（封じ込め工法、又は、囲い込み工法）を施す。

B 処理を施さない。

成形板、ボード類については、石綿含有の有無に係わらず石綿の飛散する恐れがないもの、建設年度平成2年以降の建物については吹付ロックウール内に石綿を含有している可能性がないもの、石綿含有吹付材が室内等に露出していないもの、既に石綿含有試験を実施し吹付材に石綿が検出されなかったものについては処理を施さない。

・封じ込め工法 吹き付けられたアスベスト等の表面に固化材を吹き付けることにより塗膜を形成すること、または吹き付けられたアスベスト等の内部に固化材を浸透させ、アスベスト繊維の結合力を強化することにより吹き付けられたアスベスト等からの発じんを防止する方法

・囲い込み工法 アスベスト等が吹き付けられている天井、壁等をアスベストを含有しない建材で覆うことにより、アスベスト等の粉塵を室内等に発散させないようにする方法

賃貸住宅

建物名	建設年度	構造	用途	①吹付石綿使用部位	②成型板・ボード類使用部位	③ひる石使用	対策			調査員
		階数								
高陽金平住宅	S49	SRC造	1階店舗	無し	店舗部 ・1階事務室床ービニースタイル ・1階事務室天井ー岩綿吸音板	無し	②	B		
		1階	2階～							
		RC造	共同住宅							
		2～7階								
		塔屋2階		住宅部 ・便所、エレベーター機械室ービニースタイル ・浴室、脱衣室、便所天井ー大平板 ・7階E.Vホール天井ー石綿平板 ・流し台上部吊戸棚下一大平板						

※ 建設年度については、建設着工年度です。